

公衆衛生学

【単位数：1.5単位，授業24コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

菱田朝陽 教授（公衆衛生学）

2 教育目標

（１）ねらい（Ⅲ-1-b, Ⅲ-7-b, Ⅲ-8-b, V-1-b, V-2-b, V-3-b）

- ① コンピテンスの項目として、「医学知識と科学的探究心」の内、「医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる」、「疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる」、「医学・医療と社会との関連，社会の医療問題を説明できる」を目標とする。
- ② コンピテンス「地域社会へ貢献」において、「地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる」、「地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる」，「医療計画，地域医療構想について説明できる」を目標とする。
- ③ 公衆衛生学は，集団の健康を向上させるための学問で，内容として人口統計，疫学，感染症，母子保健，高齢者保健，がん疫学，循環器疫学など多岐にわたるのが特徴である。講義では，公衆衛生学の幅広い分野の基本概念を学び，特に集団の健康維持と増進のための公衆衛生活動やその土台である疫学の重要性を理解する。

（２）学修目標

- ① 公衆衛生学の概念を説明できる。
- ② 感染症予防法の概要と届出義務が説明できる。
- ③ 感染症の危機管理について説明できる。
- ④ 検疫について説明できる。
- ⑤ 予防接種の意義と現状を説明できる。
- ⑥ 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。
- ⑦ 疾病の定義，分類と国際疾病分類を説明できる。
- ⑧ 疾病・有病・障害統計，年齢調整率と標準化死亡比を説明できる。
- ⑨ 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。
- ⑩ 第一次・二次・三次予防について説明できる。
- ⑪ 因果関係について説明できる。
- ⑫ 生活習慣とがんの関係を説明できる。
- ⑬ 生活習慣と循環器疾患の関係を説明できる。
- ⑭ 検診・スクリーニングについて説明できる。
- ⑮ 保健所・保健センターの役割を説明できる。
- ⑯ 日本における社会保障制度を説明できる。
- ⑰ 地域保健を概説できる。
- ⑱ 国際保健について概説できる。
- ⑲ 国民医療費の収支と将来予測を概説できる。
- ⑳ 医師法と医療法，医療関連法について概説できる。
- ㉑ 医療保険と公費医療や介護保険を説明できる。
- ㉒ 日本の医療制度について概説できる。
- ㉓ 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。
- ㉔ 喫煙と疾病の関係と禁煙指導を説明できる。
- ㉕ 統計学を疫学に応用できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	多肢選択問題80問
小テスト	○	40%	原則、同日3コマ分の講義内容につき4コマ目に小テストを実施する(1コマ10問計30問)。試験時間は設問内容により設定する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験と小テストの点数の合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法(再試験対象人数によって記述式に変更する場合有り)で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験終了時に正解を配付し、成績についての総括をAIDLE-Kに掲載する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
毎回プリントを配付する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2024/2025		厚生労働統計協会	最新の衛生動向、統計データが分かる。
公衆衛生が見える 2024-2025	赤澤宏平 など	メディカルメディア	保健・医療・福祉・介護スタッフの共通テキスト、分かりやすい。
シンプル衛生公衆衛生学 2025	鈴木庄亮	南江堂	公衆衛生の各分野をカバー、年度版が発行されている。

6 準備学習(予習・復習)

参考図書のどれかを選んで、各コマ(小テストを除く)の講義内容の該当部分に目を通しておくこと(各40分)。
講義の内容・配布資料と小テストで特に正解できなかった部分について各コマ1時間復習すること。

7 授業計画

(1) 講義の方法

講義は、大教室での知識伝達型の講義を行う。また、同日3コマ分の講義内容につき4コマ目で復習と小テストを実施し、学生の理解度を把握する(最後の2コマを除く)。

(2) 講義の内容

1コマ目は公衆衛生学の概要を解説し、2コマ目以降は、人口統計、疫学の基本と応用、統計学、感染症、生活習慣病の疫学、高齢者保健、社会保障制度、医療制度、医療経済、国際保健など幅広い分野について解説する。